

令和7年度浜須賀中学校学校重点目標

(1) すべての生徒、教職員が安心・安全に過ごせる学校

①他者と関わり、互いを認め合う心の育成

- ・学級活動、生徒会活動、行事などにおいて、集団の中で個が生きる活動の推進
- ・道徳(全校道徳も含む)による心の育成

②生徒指導から生徒支援へ

- ・報告・連絡・相談の徹底。

- ・公正・公平な「傾聴」→「記録」→「対応」・・・チームで関わる

・「なぜ、自分が間違った行為をしてしまったか」生徒が納得し、先に進める指導・支援を目指す。

③いじめ未然防止・いじめ防止対策の推進「いじめをしない・させない・ゆるさない」の徹底

- ・いじめの早期発見→いじめ防止アンケートの活用・教育相談の充実

- ・いじめが起こったときの迅速な対応

- ・いじめ防止活動の見直しや道徳教育の推進

③不登校の未然防止・

- ・個別支援を通した居場所づくり→ SR（スペシャルルーム）・心の教育相談室の活用

- ・SC、SSWとの連携

- ・外部機関との連携

④教育相談体制の充実

- ・全教員体制でおこなう。

- ・学校生活アンケートの効果的な活用

- ・日常の中での観察や丁寧な声掛けを大切にする→気づきをチームで共有

- ・教育相談コーディネーターを通しての外部機関との連携

⑤あいさつの推進

- ・まずは教職員から生徒たちへのあいさつを

- ・生徒会を中心としたあいさつ運動の奨励

⑥安全教育・防災教育（避難訓練・防災訓練など）の充実

- ・学校防災計画の見直し

- ・より実践的な避難・防災訓練の推進

(2) 授業の学びを将来に生かせる学校

① 学習環境の整備

- ・清掃活動の充実・教室環境・校内環境の整備（大規模改修1年目）

② 授業規律の確立

- ・開始、終了時刻の徹底・「聴く」「話す」姿勢の向上・タブレットの適切な扱い方の指導

③ 主体的に取り組み、学びが深まる授業づくり

校内研テーマ「生徒が主体的に学習に取り組むための授業の工夫～単元計画を生かした授業改善」

- ・基礎的、基本的な知識および技能の習得

- ・本時の目標・授業の流れの提示

- ・「浜スタプラン」（教科の単元計画）を元にした学びの見通し、振り返りができる授業づくり

- ・タブレット、学びあいを効果的に取り入れる授業

④校内研を通した積極的な授業研究

- ・教師同士が日頃より授業を見合い、学び合う環境づくり

- ・「浜スタプラン」の確立

- ・学習指導講座等の授業研究会への参加の奨励

⑤信頼性・妥当性のある学習評価に努める→指導と評価の一体化を目指す。

- ・教科ごとに学習計画・評価計画を見直し、作成する
- ・評価規準・評価方法の見直しに努める
- ・生徒・保護者に対して学習評価についての分かりやすい説明を心掛ける

(3) 互いの違いを認め合い、高めあい、支え合える学校

①インクルーシブ教育の推進

- ・生徒、教職員共に多様性を理解し、互いを認め合い、支え合う教育活動を進める。

②支援教育の充実

- ・個に応じた多様な支援の充実
- ・必要に応じた「個別支援計画」の作成（特別支援級は必須）
- ・教職員の研修会の開催

③週1回の支援会議（校長・教頭・生徒指導担当・教育相談コーディネーター・各学年生徒指導担当

- ・養護教諭・SC・SSW）による生徒指導、支援情報の把握と対応の共有

④外部機関との連携（中央児相・子ども家庭センター・青少年教育相談室等）

(4) 保護者、地域と共に生徒を育てる学校

①保護者との信頼関係づくりに努め、常に子供の成長を支えるという共通認識の元に協力しあう

②保護者、地域への学校からの情報発信

- ・学校便り・学年便り・HP・正門掲示板・COCOOなどを活用し、学校からの情報発信を心掛ける
生徒、保護者両方に伝えるべき情報については紙、COCOO両方を利用する
- ③学校運営協議会・推進協との連携（学校支援・地域実践研究校（R8））
- ・学校運営協議会では学校、地域で生徒の校内外の生徒の様子を情報交換し、互いが無理なく協力し
合える行事、取り組みをめざす。
 - ・浜須賀・松浪・縁が浜推進協の会合には企画会メンバーを中心に交代で参加し、学校からの情報発信
をする

④生徒、保護者ボランティアによる地域の行事の参加の推進

- ・ボランティアカードを活用し、生徒が主体的に取り組めるよう促す。